

単元名 あつめる ときに つかおう

配当時間 3時間

単元の目標 (1) 言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気付くことができる。
 (2) 必要な事柄を集めたり、確かめたりすることができる。
 (3) 必要な事柄を集め、知らせたいことをメモに取ろうとする。

標準的な展開例

02010115_001

【教材名】メモをとる とき (上 P. 78～P. 79)

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 学習の見通しをもつ。 ★知らせたいことをメモに取ろう。 ○メモを取るよさを話し合う。</p> <p>○教科書 (P. 79) のメモを見て気付いたことを話し合う。</p> <p>○メモの書き方を確かめる。</p> <p>2～3 教室の中で知らせたい物を決め、メモに取る。 ○教室にある物の中から、知らせたいものを決め、メモに取る。</p> <p>○できあがったメモを友達と読み合い、よさを伝える。</p> <p>○メモを取るときに気を付けたいことを話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでにメモを書いた経験を思い出させ、メモの役割やよさに気付かせる。 ・短い言葉で、箇条書きで書かれていることや絵が描かれていることなどに気付かせる。 ・メモには、覚えておきたいことや、後で確認したいこと、知らせたいことなどを短い言葉で書くことよきことを確認させる。 ・メモは、後から見ても分かりやすいように書くことが大切であることに気付かせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・どのようなことがメモに書いてあると分かりやすいかを考えさせ、それを正しく短い言葉で書くように意識させる。 <p>【評】短い言葉でメモを取る活動を通して、伝えたいことを選び、簡潔に表す「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できたメモは自分で読み返すようにさせ、そのメモを基にして、相手に様子を詳しく知らせることができるか、考えさせる。 <p>【評】メモを書く活動を通して、言葉には事物の内容を表す働きがあることに気付く「知識・技能」を評価する。</p> <p>【評】メモを取る活動を通して、知らせたいものを決めようとする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ物についてメモを取った児童でペアを組ませ、そのメモを見比べさせるのもよい。 ・どんなメモが分かりやすかったかを発表させて板書し、全員で共有できるようにする。 <p>【評】メモのよさについて話し合う活動を通して、メモのよさに気付く、日常生活に生かそうとする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】